

令和3年秋 子ども図書館おすすめ本

★中高生におすすめの本★

★『クラバート』

オトフリート・プロイスラー/文 ヘルベルト・ホルツィング/絵 中村浩三/訳
偕成社

孤児の少年クラバートは、ある日自分を呼ぶ夢を三度見る。その声にさそわれて、コーゼル湿地の水車場へ行き、親方の弟子になった。そこには見習い職人が11人いたが、ただの水車場ではなさそうだった。やがてクラバートはこの謎に満ちた水車場で、親方に魔法を習うことになったのだが…。恋と魔法、自由、友…迫られたクラバートの選択は――。

★『数の悪魔―算数・数学が楽しくなる12夜』

エンツェンスベルガー/著 ベルナー/絵 丘沢静也/訳 晶文社

算数や数学が大嫌いな少年クラバートの夢のなかに、「数の悪魔」があらわれ夜中のレッスンがはじまる。1や0のマジック、素数の謎、パスカルの三角形…。不思議な数の世界の楽しさを、悪魔が12夜にわたってナビゲートする。数の法則が身近になって、数学アレルギーの人もしなおるかも？

★『羊と鋼の森』

宮下奈都/著 文藝春秋

高校生の時、偶然ピアノ調律師の板鳥と出会った外村は、調律の世界に魅せられる。調律の専門学校で学ぶが自分の才能に自信が持てない。だが、周りの人々―先輩やお客、恩師―との交流を通じて、少しずつ自分の道を見出していく。淡々とした展開だが、調律により変わるピアノの音の世界を自然や森に喩えた言葉に、読みながらイメージが広がっていく。深まる秋に。

